紫波ネット

SHIWA-NET
人と地域をつなぐ広報紙
No.891 2014
7

紫波ネット891号 平成26年7月9日発行
岩手県●紫波町 〒028-3392 紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社
http://www.town.shiwa.iwate.jp/

【表紙の写真】上平沢地区の滝名川で、紫波町商工会青年部(阿部真志部長)主催の第24回親子ふれあいニジマス釣り大会が開かれました。気持ちの良い初夏の陽気の中、県内外から約400人の親子が参加。前日に放流されたニジマス約1000匹の中から、体長50センチもの大物を狙って、子どもたちは何度も何度も川に釣り糸を振り入れていました。

やった！ピチピチの魚が釣れたよ♪

親子ふれあいニジマス釣り大会（6月22日）

豪雨災害からまもなく1年 3カ年計画で 復旧工事を進めています

04

02 オガールニュース
09 野村胡堂・あらえびす記念館開館20周年記念式典
10 体協だより
12 健やかランド紫波
17 彦部地区に三井報恩会事業記念碑が建立
18 地域づくり活動補助金公開審査会
24 シリーズ行ってみよう 訪ねてみよう紫波の達人

オガールニュース●バレーボールアカデミー体験教室

豊かな公が息づくまち●地域づくり活動補助金公開審査会

話題●三井報恩会事業記念碑建立

表紙●親子ふれあいニジマス釣り大会

町の資源・経済の循環と、安心安全な暮らしを実現するために

紫波型エコハウスサポートセンターがオープン

町が分譲している住宅地「オガールタウン 日詰二十一区」の一区画に、紫波型エコハウスサポートセンターが開所しました。

この施設は、暮らす人の健康や省エネルギーに配慮した住宅の普及を目的に、町内の建設業者などで構成された紫波型エコハウス協同組合（橘冨雄代表理事）が建設し、町が購入したもの。町が運営を委託する（一社）農林公社が、町内での紫波型エコハウスの新築や、一般住宅の断熱改修、省エネルギー設備機器の導入などの相談支援窓口業務を行います。

6月29日に行われた開所式には、関係者など約70人が参列し、熊谷町長が「この施設は、循環型まちづくりの一つの理念を表したもの。建設に、紫波型エコハウス協同組合の皆さんが携わることによって、地元業者の皆さんに、高断熱・高気密の住宅を建築するノウハウが蓄積されたと思います。ここを拠点に新しいまちづくりを進めていきたいです」とあいさつしました。

同センターは、町が定めた「紫波型エコハウス基準」を満たす造りになっており、モデルハウスとして一般に公開されます。どなたでも見学することができますので、エコハウスの心地よさを体感しに、お気軽にお出かけください。

紫波型エコハウスサポートセンターの役割

★住宅の新築や、既存住宅の改修についての相談・紹介をします
- 建物性能の向上についての情報提供・相談
- 省エネルギー設備の導入についての相談
- 快適な住まいの実現についての相談
- 補助金・助成金の紹介
- 町産材や町産材製品の紹介

★紫波型エコハウスの普及啓発
- マスコミなどを通じた情報発信
- 一般市民を対象としたセミナーやイベント開催

★モデルハウスの運営
- 来訪者への説明

■問合せ
紫波型エコハウスサポートセンター
紫波中央駅前2丁目3番地31
☎601-6595　FAX601-6596
[開館時間] 午前10時～午後6時
[休館日] 毎週月曜日（祝・休日の場合はその翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）
※オガールタウン「日詰二十一区」の宅地分譲については、役場企画課 公民連携室（☎672-2111）までお問い合せください。

町産木材を100%使用した2階建てのサポートセンター。断熱性の高い窓枠（トリプルサッシ）4種類などがサンプルとして使用されており、地域熱供給サービスを利用した給湯・暖房システムも取り入れられています。

開所式で行われたテープカット

紫波型エコハウスサポートセンターのスタッフの皆さん

式典後に行われた「住まいづくりセミナー」では「天然木の良い香りがする」などの声が聞かれました。

幼児・児童がバレーボールに挑戦！

～バレーボールアカデミー体験教室～

赤石小学校の体育館で6月15日、OWLS（アウルズ）紫波バレーボールアカデミー体験教室が開催されました。幼児から小学3年生までの約50人が参加し、保護者に見守られながら、楽しく体を動かしバレーボールに親しみました。この教室は、8月からの開校を前に、オガールベース（株）が主催したもので、同社の綱嶋久子（元全日本代表）ヘッドコーチをはじめとするコーチ陣や社会人現役プレーヤーたちが講師を担当。約1時間半にわたる教室はあっという間に過ぎ、終了時間には子どもたちから「もう終わり？」と惜しむ声が聞かれました。

綱嶋ヘッドコーチのトスを受け、アタックに挑む子どもたち

ヘッドコーチを務める綱嶋さんにお話を伺いました

インタビュー

「子どもたちが自らを超え、成長する場」を目指して

OWLS紫波バレーボールアカデミー ヘッドコーチ
綱嶋 久子さん（旧姓 向井）

一家で越してきて約4カ月が経ち、紫波町は「とても人が優しい町」だと感じています。特に、地域の皆さんが子どもを温かい目で見守ってくれる姿に、とても感動し、引っ越してきてよかったと思いました。

現役引退は、教える喜びを知ったこと、そしてこれからのバレーボール界のために私ができること、やりたいことを考えての決断でしたので、オガールベース（株）の岡崎さんからアカデミーの話をいただいた際は、理想の現場だと感じました。家族に相談したところ、主人が「自分たち家族にしかできないことがあるんじゃないか」と背中を押してくれ、決断することができました。

8月から始まるアカデミーでは、2人のコーチ、サポートコーチ（現役選手）と一緒に、子どもたち1人1人の良さを生かしつつ、成長を手助けしていきたいと考えています。対象の幼児から中学生の子どもたちに、バレーの技術はもちろん、あいさつなどの礼儀や、子どもたちが自分で考え、チャレンジし、壁を超え、成長していく力をつけられるような教育も行っていきます。8月中は無料体験もありますので、興味のあるお子さんは、ぜひ一度試しに参加して、判断していただければと思います。

～プロフィール～

広島県廿日市出身。平成8年から20年までVプレミアリーグ、平成12・13年には女子全日本代表として活躍。現役引退後に結婚し、生活の拠点を千葉県に移してからも、バレーボールの指導普及に力を注いできた。そんな中、オガールベース代表取締役の岡崎正信さんからヘッドコーチの依頼を受け、今年の3月に紫波町へ移住。

岩手県フットボールセンターでは、4月から「紫波JARNサッカースクール」が開校されています。（一社）日本アスリートリレーションネットワークが企画運営し、オガールベース㈱がパートナーとして事務局を担っています。日本サッカー協会公認指導者ライセンス保有の元プロサッカー選手から指導を受けることができる教室で、幼児から小学生までが対象です。詳しくは、お問い合わせください。

■問合せ　オガールベース（株）　☎070-6953-9982

豪雨災害からまもなく1年
3カ年計画で
復旧工事を進めています

志和稲荷神社から山王海ダムに向かう山王海2号線。
壊れたガードレールをつなげたラインまで、本来は道路だった。(6月26日の様子)

昨年8月9日、当町を1時間71ミリという未曾有の豪雨が襲いました。大雨による家屋浸水などの被害に加え、土砂災害が多数発生し、町内各地の田畑や道路、河川などさまざまな場所が被災しました。

この災害を受け、町は現在、防災マップや防災計画の見直しを進めるとともに、被災した場所の復旧工事を緊急度や被災箇所周辺の状況などを見極め、優先順位をつけながら3カ年の計画で進めています。

特集では、町の復旧事業の概要とともに、町内各地区で開催した「まちづくり座談会」で町の皆さんから寄せられたご意見・ご質問を紹介します。

自転車競技場脇の養鯉場跡地(平沢地区)に
積まれた倒木・流木材

沢内川(左)が氾濫し、大きくえぐれてしまった
上松本境1号線(右)

平成25年8月9日 豪雨災害復旧事業の概要

町は、昨年の災害で被害を受けた場所の復旧工事について、農地、道路、河川、公園の順に優先順位をつけながら進めており、本年度からは道路や河川の工事が本格的に行われます。

今回の災害に関連する復旧工事と災害救助などにかかる予算は、3カ年で約30億7千万円を見込んでいます。これは、町の本年度の一般会計予算の約4分の1に相当する額です。

公共土木施設の被害

町内の公共土木施設（道路、河川、公園）で被災した所は、5月末日時点で、920カ所です。これらのうち、大規模な被害は国庫補助事業として、小規模なものは町単独事業として、総事業費（工事費、修繕費、委託料、用地補償費など）20億7312万7千円をかけて復旧工事を進めています。

昨年度まで農地を優先的に工事してきたため、公共土木施設の復旧工事は本年度から本格的に始まります。小規模な被害は昨年度でほぼ復旧工事が完了していますが、多くの被災箇所は6月から9月にかけて発注し、本年度末には完了する計画です。

ただし、災害規模が特に大きい山王海2号線（志和稲荷神社から山王海ダムに向かう道路）と上松本境1号線（沢内川沿いの道路）は、本年度と来年度の2カ年にかけて復旧工事を行う予定です。

「このあたりはどうなっているの?」「ここも被害を受けているけれど、着工する予定は?」など、お気づきの点があれば、町にご連絡ください。

公共土木施設災害復旧事業

単位：千円

事業事業	施設	被災箇所数	事業費（予算額）	備考
国庫補助事業	道路	26	822,900	事業費 工事費、修繕費、委託料、用地補償費など 単独事業 直営対応分を除く今後の見込み分を含む
	河川	79	790,400	
	公園	2	3,300	
	計	**107**	**1,616,600**	
単独事業	道路・河川	810	421,927	
	公園	3	34,600	
	計	**813**	**456,527**	
合計		**920**	**2,073,127**	

※被災箇所数は、日を追うごとに増えてきており、事業費（予算額）も変動しています。

農林施設の被害

町内の農林施設（農地・農業用施設）で被災し、国や町からの補助などを受けて復旧するものは、5月末日時点で、農地が217カ所、施設が400カ所です。現在、総事業費（工事費）5億4629万5千円をかけて、復旧工事を進めています。

国から激甚災害に指定されたことにより、復旧工事にかかる工事費への補助率が高くなり、大規模な被害が対象となる国庫補助事業の補助率は、農地が91・1％、施設が95・5％となりました。

農地は、春からの耕作期に間に合うよう、工事を優先的に進めてきたため、昨年度中に発注・着工したものが多く、ほぼ完了している状況です。

一方、農地を優先的に施工したため、林道の復旧はこれから本格的に始まります。林道の被災は18カ所あり、大きな被災場所から着工が始まっています。例外として、鍵掛峠線（山王海ダムから雫石に抜ける道路の一部）は、車両通行が困難なため、手前の町道山王海2号線などの復旧を待っている状態です。

大雨による被害を受けた作物の再生産支援、代替飼料の確保などには、1063万4千円。このほか、流木や土砂などの撤去費用を含めるとさらに経費がかかっています。

災害に関するご意見・ご質問

町は、6月16日から24日までの間、町内各地区9会場でまちづくり座談会を開催し、「町からの話題」として、昨年の8月9日の大雨災害の復旧状況について説明しました。

のべ237人の参加者の皆さんから寄せられた声のうち、大雨災害に関するご意見・ご質問と町からの回答を、抜粋して紹介します。

（災害以外の分野で寄せられたご意見・ご質問については、来月以降の紫波ネットでお知らせする予定です）

○ご意見・ご質問　●町からの回答

8・9大雨災害全般について

6／24 JAいわて中央志和支所

○**災害復旧にかかる支出**の財源内訳は、それぞれいくらになるのか。

●おおよその金額は、国からの補助が12億9千万円、県からの補助が2億9千万円、借金するのが8億8千万円、農家の皆さんからの分担金が6200万円となり、町の一般会計からの支出は5億4千万円です。

道路の復旧工事について

6／16 赤沢公民館

○大きな道路を優先的に復旧工事するということだが、赤沢には、それ以外の**細かい道路もたくさんある**。工事を後まわしにされると、だんだん住む人も減ってしまうのではないかと心配している。

●町は、地域の皆さんによる通常の維持管理では直せないような里道（赤線）や水路（青線）の被災についても復旧工事を行っていますが、まずは公益性の高い町道や河川の復旧工事を優先的に進めています。また、状況に応じて、町で砂利を提供し、地域の皆さんで直していただくという方法をとることもできますので、ご相談ください。

6／17 水分公民館

○**志和稲荷神社から山王海ダムに向かう道路**（山王海2号線）は、いつごろ直るのか。山王海ダム方面に行きたい人はたくさんいると思う。

●この路線は、道路が道ごと崩れてしまっており、工事費だけで1億2千万ほどかかる見込みです。また、現在は普通車両も通行できない状況ですので、8月を目途に仮設の道路を造り、工事車両が通れるくらいの道幅にしたいと考えています。工事の本格的な着工は9月で、来年の夏には完成する予定です。

6／21 情報交流館

○**運動公園前の県道**がいつも冠水するが、町の東西を結ぶ大動脈の道路であるので、道路を高くするなどして対応してほしい。それにより、日詰7区への水の浸入も防げると思う。

●道路の高さを変えることは難しいと考えられますが、主要地方道としての位置付けから、県への働きかけを行ってまいります。

6／23 彦部公民館

○5年に1回ほど大雨災害が発生しているが、**浸水被害があった道路のかさ上げや、排水路の拡張**などは行えないか。基盤整備により、周辺の道路が高くなり、宅地に水が入ってきてしまうようになっているので、国道と県道の交差点を30㎝ほど下げてほしい。

●道路の上げ下げは実際、難しい状況です。排水路の断面については、基盤整備事業では、拡張に限界があるといわれていますので、その整備手法について、県と協議を進めてまいります。

河川の復旧工事・整備について

6／18 長岡公民館

○復旧工事は**どのような計画で進めていくのか**。

●災害復旧は基本的に3カ年計画で進めていますが、被災箇所がとても多く、工事業者も限られているため、昨年は農地の復旧を優先的に行いました。

土木施設には、道路、河川、公園がありますが、中でも道路を優先しており、河川への着手は本年度から本格的に始まります。町単独事業は昨年度末でおおむね9割完了していますので、残る箇所も本年度中の復旧を予定しています。また、国庫補助事業として工事する道路と河川は、今年の9月までに発注し、大きく被災した2路線以外は、年度内に復旧の予定です。

6／23 彦部公民館

○**彦部地区の堤防には切れ目**があり、そこから浸水が起こっています。日詰から廿木地区までの堤防整備が計画されているが、向かい側の堤防だけが整備されると、彦部地区の浸水被害が拡大されるのではないかと心配。今後の水害発生を考え、自宅の移転を考えている人もいるので、彦部側の堤防整備も同時に進めることはできないか。

●その計画については、地元の合意形成が図られず、頓挫した経緯があります。

国の整備計画には10年単位で河川整備の実施予定箇所が示されており、現時点では、彦部地区の堤防も10年以内に整備される計画です。廿木地区の堤防の整備と併せて、

対応が可能か国に打診したいと思います。

6／21 情報交流館

○日詰地区から廿木地区までの堤防整備計画があるが、**日詰川に水門（桶管）**はできるのか。昨年の雨に対応できるようなポンプを設置してほしい。

●降水確率など、さまざまな観点から検討して、整備計画を立てたいと考えています。総合的な視点が必要なので、もう少し時間をかけて調査を行ってまいります。

6／24 JAいわて中央志和支所

○**大坪川のポンプ**について。何度もあふれているので、対応を検討すべきではないか。

●以前は、広い水田が貯水池のような機能を果たすことにより、河川の越流などを防げていましたが、現在は、宅地開発などによる土地利用の変化により、低い場所に一気に雨水が集まってきます。「ゲリラ豪雨」と呼ばれるように、最近の雨の降り方が今までと違ってきているので、国の雨水排水施設の整備基準も変わってくると考えられます。対策には、国の動向を見ながらの検討と、国からの財政支援が必要だと考えています。

土のうで応急処置している繋川（つなぎ）（赤沢地区）
（7月4日の様子）

避難所について

6／19 佐比内公民館

○昨年の災害では、佐比内小学校が避難所になりましたが、地域の人にとっては、**佐比内公民館を避難所に**する方が使いやすいと思います。公民館を避難所として活用できるよう、脇を流れる川の護岸を高くするなどして、公民館が浸水しないように整備してほしい。

●河川の整備は、大雨の降る頻度、確率を考慮して行われており、それぞれの河川によって基準も異なっています。年間で1時間に50ミリ以上の雨が降った回数は、30年前の平均と比べると、ここ10年間でおよそ1・5倍になっています。このことから、ものの考え方も、自然環境に合わせて変えていかなければならないと思います。工事には多くのお金がかかりますので、一度にすべての河川のかさ上げはできませんが、その在り方を検討していかなければならないと思います。（土木課）

●避難所は、いざ被災した時に孤立することのないよう、安全を第一に配置したいと考えています。今後の有事に備えて、教育委員会と協議してまいります。（総務課）

●学校施設には現在、水や食料の備蓄、毛布などの非常用具がありません。また、普段は学校の本校舎には一般の人が入れないようになっていますので、有事に備えて総務課との連携が必要だと考えています。一方、いざという時に避難所生活の場となった際に、子どもたちの学校教育はどのようにするのかも検討する必要もあります。（教育委員会）

自主防災組織について

6／22 赤石公民館

○自主防災組織の活動は、消防団と同じような活動になると思うが、**保険などの加入は町でやってもらえないのか。**また、自主防災組織は、町の防災組織の一部に組み込まれ、情報提供を受け、それなりの役目を果たすようになっているのか。

●自主防災組織は、自助・共助・公助の「自助・共助」に当たる部分であり、地域で助け合い自立して活動することを想定しています。そのため、保険の加入は、その地域や個人で行っていただいています。

また、連絡体制については、各地で組織されている自主防災組織にすべて連絡することは難しいですが、災害の状況を見ながら、対象地区の自主防災組織に連絡を行います。

6／22 赤石公民館

○地区全体が被災した場合、隣接地区との関わりが必要だと思う。**自主防災組織にもネットワークが必要**ではないか。他の自主防災組織との連絡体制をつくってほしい。

●町内では現在、54の地区で自主防災組織が立ち上がっています。連絡体制については、今後の解決すべき課題として考えていきます。

町の防災体制について

6／21 古館ふれあいホール

○昨年の災害で、西部の山沿いに土砂災害の危険がある場所が多数あることが分かった。ワークショップなどを開きながら、**防災マップの見直し**をしてほしい。

●今年になり、山沿いの危険な場所について、国や県などと一緒に歩いて確認調査をしました。ハザードマップの見直しは、現在進めているところであり、新しいマップは、来年度早期に配布したいと考えています。

6／21 情報交流館

○世界的に**局地的な豪雨**が増えているが、対策は何か議論されているか。

●対策には苦慮しています。昨年のような豪雨災害に対応して、現在の施設規模を倍にするには、多額なお金がかかります。専門家を交えながら、遊水池も視野に入れて最も適切な対策をしたいと考えています。

町の皆さんからの情報が判断の要です

昨年の8月9日の災害では、町、消防団、消防署、警察署それぞれに膨大な情報が集まり、より緊急度の高いものの判断が難しい状況でした。今後の課題は、提供された情報から、「生命、身体、財産」の順に優先順位をつけて対応し、より緊急度の高いものから対応していくことです。

そのためにも、関係団体と協力しながら、情報の連携の在り方を考えていきたいと考えています。また、町の皆さんからの情報が判断の要になりますので、緊急時の連絡では「何がどのような状態か」という情報をお伝えください。

町は現在、昨年の8月9日の被害状況を踏まえた最新の防災マップを作成しており、来年度の早い時期に全戸配布を予定しています。

また、自主防災組織については、高齢化が進み、町内の昼人口が減少している現在、「何をどこまでできるのか」という観点から、それぞれの地域に合った形で取り組むことが重要です。自主防災組織を検討されている地区がありましたら、情報提供や助言などに伺いますので、総務課までご連絡をお願いします。

■担当　総務課 消防防災室
☎672-2111（内線3131）

いつ来るか分からない大雨に備えましょう

昨年の災害では、幸いにも、町内で亡くなられた人はいませんでしたが、今後、いつどのような災害が発生するか分かりません。家屋の点検など、備えを万全にしましょう。もしも災害が起こった場合には、昨年の被害発生地域を思い出し、「早めに命を守る行動」をとってください。

また、町のホームページでも防災マップを見ることができます。地区の危険な場所や避難場所を普段から意識しておくことが大切です。

大雨特別警報を見たり聞いたりしたらこんなことに注意しましょう

山や崖、川のそばは、大変危険!

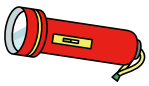
➡すぐに離れ、安全な場所へ避難しましょう。

避難勧告や避難指示が出ていたら

➡すぐに避難しましょう。

家の周りが水につかっていたり、夜で真っ暗なときは、外に出るとかえって危険。家の2階など、家の中の少しでも安全な場所へ避難しましょう。

大切なこと



➡特別警報を待たず、早め早めに行動しましょう。

町から避難の情報が発表されていないか、天気予報で大雨になると言っていないか、外の様子に普段と変わったことはないか確認しましょう。

注意報などお知らせの違い

町消防団が災害対応活動について功労表彰を受けました

紫波町消防団（阿部悦尚団長）は、昨年8月9日の大雨災害における水防や救助活動などについて、消防庁長官、（財）岩手県消防協会総裁、全国水防管理団体連合会長、国土交通大臣から功労表彰を受けました。阿部悦尚団長は「先の災害で、被害を最小限に食い止めることができたのは、婦人消防協力隊の協力や消防署の指導のおかげ。表彰は、消防団全員の功績であり、地域の皆さんの協力があってこそだと思います。今後の災害に備えて、消防団・協力隊一丸となり、ますます訓練を重ねていくとともに、今度は無火災で受賞できるように、活動に励みたいです」と地域を守る決意を新たにしていました。

記念対談の様子

感謝状贈呈者と主な功績
（写真左から順に）

○**佐藤　昭八氏** 東京大学図書館在職中に松田智雄氏（胡堂の娘婿）の下で仕事をした縁で、野村胡堂・あらえびすの研究に取り組む。

○**田村　　毅氏** 同館運営審議委員を平成8年から平成23年まで務める。「野村胡堂宛書簡」の冊子化・電子化に携わる。

○**箱石　匡行氏** 同館運営審議委員を平成8年から平成23年まで務める。野村胡堂・あらえびすに関する講座を同館開館から実施する。

○**花篭陽太郎氏** 彦部地区野村胡堂顕彰会（昭和62年12月発足）初代会長。同館運営審議委員を平成8年から平成17年まで務める。平成7年に発足した同館協力会会長を平成17年まで務める。

○**藤倉利恵子氏**（欠席）　胡堂夫妻と交流のあった童話作家藤倉四郎氏の妻。胡堂に関する貴重な資料を町へ寄贈。

○**嶺　　貞子氏**（代理 川嶋容子氏）　声楽家。平成7年から紫波町で開催している野村記念講座を企画。初回から昨年開催の第31回までの全てのコンサートに出演。

○**八重嶋　勲氏** 彦部地区野村胡堂顕彰会顧問、同館運営審議委員を歴任。現在NPO法人野村胡堂・あらえびす記念館協力会副理事長を務める。「野村胡堂宛書簡」の解読、『野村胡堂・あらえびす来簡集』の編集に携わる。

○**（株）音楽之友社様**　CD・出版事業を通した「野村胡堂・あらえびす」や同館の周知に大いに貢献。

○**（株）文藝春秋様**　出版事業を通した「野村胡堂・あらえびす」や同館の周知に大いに貢献。

幾多の支援に感謝し胡堂の心を後世に
～開館20周年記念式典～

新緑が映え、さわやかな陽気に包まれた6月14日（土）、野村胡堂・あらえびす記念館開館20周年記念式典が同館で行われました。熊谷町長は「開館から、胡堂先生の書籍、書画の展示のほか、芸術文化を発信する施設として、講演会やレコードコンサート、講座などを開催してきた。今後も地域に愛され親しまれる施設を目指し、関係者と地域の皆様と歩んでいきたい」とあいさつ。式典では、野村胡堂の顕彰活動に多大な影響、支援をいただいた7人と2団体に感謝状が贈呈されました。

また、同日午前中には、作家で同館名誉館長の高橋克彦氏と、絵本作家でNPO法人野村胡堂・あらえびす記念館協力会の理事長である澤口たまみ氏による開館20周年記念対談が行われました。お二人は「胡堂のすごさは、『銭形平次』だけでは伝わらない」と意気投合し、澤口氏は「SFやホラーにも定評のある胡堂が、さまざまな作品を通じて伝えたかったものを、記念館として捉え、胡堂がどんな風にすごかったのかを、胡堂を生んだ紫波のDNAを持つ子どもたちに知ってもらいたい」と記念館の今後の活動に向け、力強く決意を述べました。

国体だより

おもっち
（自転車バージョン）

希望郷いわて国体紫波町実行委員会

町はこれまで、いわて国体開催に向けて「準備委員会」として準備を進めてきていましたが、6月2日に開催した総会で、実行委員会（熊谷泉会長）に移行しました。国体の成功に向けて、関係者だけでなく町民が一丸となり「オール紫波」で盛り上げていくことを確認しました。

わんこきょうだいが自転車競技場に来場

いわて国体自転車競技の会場となる紫波自転車競技場で開催された紫波サイクルチャレンジ大会に、いわて国体マスコットキャラクターわんこきょうだいの「おもっち」が来場し、参加者と握手や一緒に写真を撮り交流を図りました。

59th
体協だより
●発行● 財団法人 紫波町体育協会 ☎676-2650
E-mail:taikyou@gymna-shiwa.jp

平成26年度｜中期スポーツ教室のご案内

教室受講希望者は体育館窓口で会員登録が必要です。詳しくは体育館窓口でご確認ください。

会員登録料（保険料込）	幼　児	小中学生	高校生以上	60歳以上
	無　料	800円	1300円	1000円

教室名（会場）	開催期間・対象・定員	内　　容	受講料
元気いきいき教室（総合体育館）	期間:8/26～10/21(8回) 毎週火曜、9:30～11:30 対象:一般成人　定員:25人	ニュースポーツを通じて健康維持増進を目指します。体と脳を使って、リフレッシュ。	2000円
ナイターテニス教室（運動公園テニスコート）	期間:8/27～10/1(6回) 毎週水曜、19:00～20:50 対象:一般成人　定員:30人	硬式テニスの基本を指導します。体を動かし日常のストレス発散。貸しラケット（無料）が有ります。	2000円
水中運動教室（ラ・フランス温泉館）	期間:9/12～11/28(6回) 第2・4金曜、14:00～15:00 対象:一般成人　定員:20人	初めての人にも優しく指導します。水の特性を大いに使って心身ともにリフレッシュ！ 男性も大歓迎！	1500円
親子リズム教室（総合体育館小アリーナ）	期間:9/18～10/30(4回) 第1・3・5週木曜、10:00～11:00 対象:幼児(2歳以上)と保護者 定員:20組	親子でふれあい、音楽にあわせて身体を動かしましょう。 ※満2歳以上のお子さんが対象です。	2000円
テニス教室 日中平日コース（サン・ビレッジ紫波）	期間:8/20～10/1　(6回) 毎週水曜、10:00～12:00 対象:一般成人　定員:15人	平日の日中開催の硬式テニス教室です。初めての人も大歓迎です。 貸しラケット（無料）が有ります。 ※9/17休講日	2000円
小学生スポーツ教室（総合体育館）	期日:7/30・7/31(2回) 10:00～11:00 対象:小学1・2・3年生 定員:20人	マット運動・かけっこ・ボールコーディネーションなど取り入れたプログラムです。 自分が思うように体を動かせるかな？	800円

ナイターテニス教室

元気いきいき教室

親子リズム教室

7月18日（金）午前9時から、総合体育館窓口にて受付開始。

当日は、混みあうことが予想されるため、午前8時から、玄関前で整理券を配布します。
整理券は、教室別に配ります。1人2家族分まで。
整理券有効期限:7月18日のみ（受付時間:午前9時～午後8時30分）

◇注意事項◇
＊各教室とも定員になり次第、申し込みを締め切ります。
＊開講2日前までに、5人以上の申し込みがない教室は開講しません。
＊申し込み後、開講日の1週間以内となってからのキャンセルについては、参加料（登録料含）の返金はできません。

【問合せ】
紫波町体育協会（総合体育館内）
☎676-2650／有線01-3151

報告 「新体操体験教室」開催

6月12日、小学生の基礎体力向上を目的とした「新体操体験教室」を開催しました。講師は、北上翔南高校女子新体操部の顧問である本堂厚子先生が務め、町内外から24人の小学生が参加しました。子どもたちは、柔軟体操でウォーミングアップを行ったあと、ボール・フープ・リボンなどの新体操特有の手具を使ってリズムに合わせて踊り、体を動かす楽しさを体感しました。子どもたちからは、「もっとやりたい」「また挑戦したい」などの声が聞かれました。

同体験教室は、12月にも開催予定です。美しく華麗な舞を披露してくれる県内の高校、ジュニアの選手による女子新体操公開演技会も予定していますので、皆さんぜひご来場ください。

ブリッジトンネルをくぐる様子。お見事！

音楽に合わせてフープを使い、リズミカルに体を動かす子どもたち

報告 「第66回岩手県民体育大会紫波町選手団結団式」開催

総合体育館で6月6日、第66回岩手県民体育大会紫波町選手団結団式を行いました。町からは27競技に総勢約500人が出場し、上位入賞を目指して熱い戦いを繰り広げます。

熊谷町長の激励に真剣な表情で耳を傾け、決意を新たにする紫波町選手団

お知らせ 陸上競技場とテニスコートが復旧 ～貸出再開しました～

テニスコートは4面あります

昨年8月の水害により、陸上競技場とテニスコートの貸し出しを停止していましたが、テニスコートは6月1日から、陸上競技場は6月30日から貸し出しを再開しました。利用される皆さんには、長期間大変ご迷惑をおかけしました。

お知らせ マラソン大会の開催日変更について

今年で34回目となる町民マラソン大会の開催日が、他大会との兼ね合いにより、次のとおり変更になりました。イベントカレンダーに記載されている開催日は変更以前のものですので、ご注意ください。

【変更前】9月28日（日）→【変更後】9月15日（月・祝）

健やかランド紫波
健康と福祉の情報コーナー

健康

子どもの歯を酸蝕歯（さんしょくし）から守りましょう。

酸蝕歯と虫歯の違いは

酸蝕歯も虫歯も歯が溶けることに違いはありません。虫歯は、口の中で増えた細菌が出す酸によって歯が溶かされている状態（う蝕）ですが、酸蝕歯は口の中に入れた酸性の飲食物によって直接歯が溶ける状態（脱灰）をいいます。

酸蝕歯の原因は

酸蝕歯の原因は、酸性が強い飲食物によって、口の中が酸性になることです。

酸性度が高いものとして思い浮かべるのがレモン。酸性度をあらわすpH（中性がpH7。それより数値が大きいとアルカリ性、小さいと酸性）が5・5～5・7あたりから歯のエナメル質が溶け始めますが、レモンのpHは2・1です。

虫歯になりやすいといわれているコーラはpH2・2とレモンと同じくらいの酸性度があります。また、スポーツドリンクはpH3・5と黒酢ドリンクと同じくらいの酸性度があります。オレンジジュースやリンゴジュースもpH2・8と酸性度が高い飲み物です。さらに、これらの飲み物は砂糖も多く含まれているので酸蝕歯のリスクとともに虫歯のリスクも高くなります。

酸蝕歯を防ぐには

長い時間飲み食いしない

食事で酸性になった口は、唾液によって中性に戻ります。しかし、時間を決めずにだらだらとおやつを食べたり、ジュースを飲んだりすると、いくら唾液を出しても中性に戻る暇がありません。ジュースは控えめに、おやつは時間を決めて食べさせるようにしましょう。

哺乳瓶に入れるのはミルクだけ

上あごに押し付けるように飲む哺乳瓶は、酸性の液体が直接前歯の裏に当たるので、その部分が酸蝕歯になりやすくなります。寝ると唾液の分泌が減りますので、夜中に哺乳瓶を使うことはさらに酸蝕歯のリスクとなります。

虫歯の予防のためにも、コップやストローで飲み物を飲めるように練習しましょう。

子どもの歯を守るのは親の役目

子どもの歯は大人に比べてやわらかいため、酸蝕歯になりやすいことが特徴です。自分でコントロールできない子どもの歯を守れるのは親しかいません。

町は、幼児期の歯科健康診査を行っています。歯科診察のほか、歯科衛生士による歯みがき指導や歯科相談も行っていますので、必ず受診してください。

【申込・問合せ】長寿健康課 健康推進室　☎672-4522　有線01-8991

福祉と健康
すこやか情報室

ご存知ですか?自立支援医療（精神通院医療）

精神疾患によって、継続して通院治療を受ける場合、医療費の負担が多くなることがあります。この制度は、そのような医療費の軽減を図るものです。

○どんな人が対象になるの？

何らかの精神疾患により、通院による治療を続ける必要がある人が対象です。

対象になるのは、全ての精神疾患で、次のようなものが含まれます。

・統合失調症
・うつ病・躁うつ病などの気分障害
・不安障害
・薬物などの精神作用物質による急性中毒またはその依存症
・知的障害
・発達障害
・てんかん　など

○医療費の軽減が受けられる医療の範囲は？

精神疾患・精神障害や、精神障害のために生じた症状に対して、病院や診療所に入院しないで行われる医療（外来、投薬、デイケア、訪問看護）が対象です。

※次のような医療は対象外です。

・入院医療の費用
・公的医療保険の対象にならない治療、投薬などの費用（例：病院や診療所以外でのカウンセリング）
・精神疾患・精神障害と関係のない疾患の医療費

○医療費の自己負担はどのくらい？

公的医療保険で3割の医療費を負担しているところを1割に軽減します。（例：かかった医療費が7000円、医療保険による自己負担が2100円の場合、本制度により自己負担を700円に軽減します）

○手続き方法は？

申請は、福祉課で受け付けています。申請が認められると、「受給者証（自立支援医療受給者証）」が交付されます。申請に必要な書類や持ち物が内容により異なりますので、あらかじめ福祉課に問い合わせください。

【問合せ】福祉課 福祉推進室☎672-2111（内線1523）

からだよろこぶヘルシーレシピ

梅の甘露煮

紫波町食生活改善推進員協議会 志和地区会員
杉浦和子さんのレシピです

ウメにはクエン酸が多く含まれ、疲労回復効果があるといわれています。

材料（4人分）

青ウメ……1kg
砂　糖……700g

1. ウメは洗って、なり口の黒い部分を竹串で取り除く。その後、針で全体をつついて水に浸す。
2. 鍋に60℃くらいのお湯をたっぷりわかす。鍋を火からおろして1を入れ手早く混ぜ、20分ほどおいたらウメを取り出す。
3. 2のお湯を80℃くらいに熱したら鍋を火からおろし、ウメを鍋に戻して20分ほどおく。
4. 3をもう一度繰り返し、冷めたら、たっぷりの水に浸し、一晩おく。
5. 鍋に水3カップと砂糖1/4量を入れて弱火で溶かし、火を止めて水気を切ったウメを並べる。並べたら、クッキングシートでふたをし、弱火にかけ、ウメが熱くなったら火を止めて冷ます。
6. ウメが冷めたら、再び弱火にかけ、熱くなったシロップを少し取り出す。
7. 取り出したシロップに、残りの砂糖の半分を溶かして鍋に戻し、鍋をゆすって全体になじませて火を止める。
8. 最後にもう一度、弱火にかけ、熱くなったシロップを取り出し、残りの砂糖を溶かして鍋に戻し、全体になじませる。
9. 1日～2日おいて甘みを含ませたら出来上がり。

●ポイント
保存もでき、ゼリーや寒天などに応用するのもおすすめです。

催し

薪（まき）の即売会

購入を希望する人は、軽トラックでお出かけください。

■**日時**　7月19日(土)、20日(日)
午前8時～午後4時
※雨天の場合は26日(土)、27日(日)に延期。

■**会場**　森林組合紫波工場(農林公社片寄事務所、片寄字野畑地内)

■**内容**　ナラ30㎝・40㎝、雑(広葉樹)30㎝(軽トラックでのバラ積販売)

■**価格**　ナラ　1台2万円(税込)
雑　1台1万8500円(税込)

■**問合せ**　(一社)紫波町農林公社
☎(907)6933　有線(01)2718
片寄事務所　☎080(4428)6119
有線(03)5049

あなたも健康の匠なりませんか？ 元気はつらつメンバー養成講座「プラス10（テン）」

自分や家族の健康づくりのポイントを学んでみませんか。講義や実習をとおして「栄養・運動・心・生活習慣病・たばこ・がん・歯」について学びます。**コース修了者は、「冬季ウォーク教室」参加ご優待！**

■**日程**　7月25日、8月8日、8月22日、9月5日、9月12日、9月19日、10月10日、10月17日、11月14日、11月28日(各金曜日、いずれも午前中開催。全10回)

■**内容**　講義、町内外でのウォーキングや調理実習などの体験実習

■**受講料**　1000円

■**定員**　30人

■**申込・問合せ**　長寿健康課 健康推進室
☎(672)4522　有線(01)8991

農業経営改善に役立つ「農業簿記研修」

これから簿記記帳を始めようとする人を対象とした、初級研修です。簿記の基本からパソコン記帳まで学べます。**参加無料**

■**日時**　7月28日(月)～30日(水)
午後1時30分～4時30分

■**会場**　矢巾北中学校　3階　パソコンルーム

■**内容**　農業簿記の基本、記帳の演習、パソコン演習

■**定員**　30人

■**申込・問合せ**　7月22日(火)まで
農林課 農政企画室
☎(672)2111(内線3324)
有線(01)8931

食の大切さを知る子ども料理教室

「NPO法人紫波みらい研究所」が提案する食育推進事業として、「ゆきちから」(小麦粉)を使ったパスタと旬の夏野菜で料理を作ります。

■**日時**　7月30日(水)
午前10時30分～午後1時

■**会場**　情報交流館 1階 キッチンスタジオ

■**内容**　夏野菜のつめたいパスタ、トマトのコンポート

■**講師**　(株)高橋農園

■**対象**　小学生10人

■**参加料**　1人　500円

■**持ち物**　エプロン、三角巾、上履き

■**申込・問合せ**　7月22日(火)まで
農林課 食育担当
☎(672)2111(内線3312)
有線(01)8822

絵本の中のクッキング～野菜の声がきこえるよ～

「手作り工房きくぱん」が提案する食育推進事業です。地元産食材を使い、絵本の中に出てくる食事やおやつなどを作ります。絵本の読み聞かせも行います。
※今回は、5月25日に実施予定だった内容を行います。

■**日時**　8月10日(日)
午前10時～午後1時

■**会場**　情報交流館 1階 キッチンスタジオ

■**内容**　野菜パンはいかが？
読み聞かせ「ぎょうれつのできるパンやさん」作 ふくざわ ゆみこ

■**対象**　5歳から小学校3年生までの子と親　10組

■**参加料**　親子1組　1000円

■**持ち物**　エプロン、三角巾、上履き

■**申込・問合せ**　7月30日(水)まで
農林課 食育担当
☎(672)2111(内線3312)
(01)8822

紫波町ふるさと会「夏の集い」

東京やその近郊に在住している町出身者で組織する「紫波町ふるさと会」が、町

売却物件募集中
土地・建物を売ろうか…
お悩みならまずはご相談下さい。
秘密厳守 相談・査定無料
岩手県知事免許(1)第2440号・(公社)全日本不動産協会会員
不動産のことなら
(株)紫波中央不動産
〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ユニバースさんそば)
☎019-671-2161　紫波中央不動産　検索

医療保険適用
在宅マッサージ
ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。
あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)
無料 お試し体験実施中!!
利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。
・歩行が困難な方
・身体にマヒがある方。不自由がある方
・車椅子使用の方 など…
お気軽にお電話ください。
紫波エリア担当 090-3753-0594
レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.019-656-6776
マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

展示会のお知らせ

「赤石絵画教室 デッサン工房」のメンバー10人と講師の先生の作品が、7月17日(木)まで、野村胡堂・あらえびす記念館ギャラリーで展示されています。入場無料ですのでお気軽にお出かけください。

の皆さんとの交流会「夏の集い」を開催します。遠くふるさとから離れて暮らす方々と親交を深めませんか。

■**日時**　8月16日(土)　午後4時から
■**会場**　ラ・フランス温泉館　ホテル湯楽々
■**会費**　4000円
■**申込・問合せ**　7月31日(木)まで
商工観光課 商工労政室
☎(672)2111(内線3622)

募集

かかし祭りに出品してみませんか

紫波ふる里センター(佐比内)は、毎年秋に開催している「かかし祭り」が、今年10周年を迎えることから、広く出展者を募集しています。開催テーマに合わせた作品はもちろん、自由な発想での作品もOKです。皆さんも、この機会にユニークなかかし作りに挑戦してみませんか。出展者の皆さんには助成金もあります。

■**開催期間**　9月13日(土)～10月19日(日)※かかし大賞の投票日は9月23日(火)
■**開催テーマ**　「大自然との格闘」
■**応募・問合せ**　9月5日(金)まで
紫波ふる里センター事務局　☎(674)2757

ガールスカウト団員募集

小学生以上の少女、協力してくださる成人女性を募集しています。活動内容などお気軽に問い合わせください。
■ガールスカウト岩手11団(紫波)事務局 ☎(676)6707

中央公民館からのお知らせ

わが家の「おすすめ本」POPコンクール

本の感想や素晴らしさを、本の紹介カードでPRしてみませんか。

■**応募区分**
小学校(低学年・高学年)の部、中学校の部、高等学校の部、家族の部
■**応募資格**　町内に就学、居住している児童生徒またはその家族
■**応募規定**　1人1点まで。題材は自由(マンガ以外)。A5判の厚みのある紙を使用。字数、画材などは自由。POPの中に書名と著者名を明記すること。
■**応募方法**　9月30日(火)までに中央公民館へ応募用紙と一緒に持参もしくは郵送。町内各学校の児童生徒は、学校を通しての提出可。また、各地区公民館でも受け付けます。

第41回紫波町読書感想文コンクール

■**応募区分**
小学校(各学年)の各部、中学生(各学年)の部、高校生・一般の部
■**応募資格**　町内に居住、就学、勤務している人
■**応募規定**　自由課題（教科図書教材を除く）、未発表の作品に限ります。
小学校低学年は800字以内、小学校中・高学年は1200字以内、中学校・高校・一般は2000字以内（400字詰め20行×20字の縦書き原稿用紙による）
■**応募方法**　11月12日(水)まで。町内各学校の児童生徒は学校を通じて、その他は中央公民館に、直接または郵送で応募してください。

芸術祭展示部門に出品してみませんか

■**開催日時**　11月1日(土)～ 3日(月)
■**会場**　中央公民館　全館
■**出展資格**　町内に在住または勤務している人
■**作品規格**
書道・水墨画(半切以内、額縁か軸装)／日本画・洋画(50号以内、厚さ10㎝、重さ5kg以内)／写真(全紙以下、パネルか額装)／工芸(展示可能な体裁)／文芸(色紙・短冊など)／盆栽(展示可能な体裁)以上各分野1人1点／菊花(展示可能な体裁1人5点以内)／華道(流派の制限なし 1社中7点以内)／その他（展示可能な体裁）
■**申込方法**　出展申込書を10月1日(水)までに、中央または地区公民館へ。※「要項」の必要な人は中央公民館まで

♪スポットイベント♪
同期間中に、中央公民館ロビーで行うスポットイベントへの出演者を募集します。ジャンルは問いません。出演時間は30分程度です。詳細は中央公民館まで

■**応募・申込・問合せ**　中央公民館　☎672-3372　FAX672-1553　有線01-2922　〒028-3305 日詰字下丸森24-2

こずかた診療所
内科・リハビリテーション科
■診療時間平日　9:00～12:00/13:30～17:30
■受付時間平日　8:30～11:30/13:15～17:00
■休診　土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘
■**施設概要**　在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。
■**利用対象者**　65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方
矢巾町大字又兵工新田5-67-1医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)
☎019-698-2015(代)　☎019-698-3033(受付)

広告を募集しています
町内全世帯に配布される町の広報『紫波ネット』にお店や企業の広告を載せてみませんか？
詳しくはお問い合せください。
掲載料　1枠10,800円（税込み・デザイン料除く）
◆申込・問合せ 企画課 情報政策室
☎672-2111 内線3232
✉joho@town.shiwa.iwate.jp

町職員採用試験

町は、平成27年4月1日採用予定の職員採用試験を行います。

■職種と採用予定数
一般事務5人、土木技術1人、建築技術1人、保育士1人

■受験資格
○**一般事務**　昭和60年4月2日以降に生まれた人で、高校以上（大学、短期大学を含む）を卒業した人または平成27年3月31日までに卒業見込みの人
○**土木技術**　昭和60年4月2日以降に生まれた人で、土木の専門科目を履修し高校以上（大学、短期大学、専門学校での土木の専門課程の履修を含む）を卒業した人または平成27年3月31日までに卒業見込みの人
○**建築技術**　昭和60年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による短期大学以上または高等専門学校において建築に関する科目を履修し、卒業した人若しくは平成27年3月31日までに卒業見込みの人のうち、次の各号のいずれかに該当する人
①二級建築士以上の資格を有する人②二級建築士試験を実務経験無しで受験する資格を有する人
○**保育士**　昭和60年4月2日以降に生まれた人で、保育士資格を取得し、児童福祉法で定める保育士登録簿に登録されている人。または、平成27年3月31日までに資格取得および登録見込みの人

■試験日・会場
○**第1次試験**　9月21日（日）　岩手大学
○**第2次試験**　11月中旬～下旬（2日間程度を予定）　町勤労青少年ホームほか

■申込・問合せ　総務課職員管財室で交付する申込用紙に必要事項を記入し、同室へ8月14日（木）までに提出（土日祝を除く）
※受付時間は午前8時30分～午後5時
※郵送申込は8月14日（木）午後5時必着
総務課 職員管財室
☎（672）2111（内線2311）有線（01）2825

各給付金の申請受付中　9/30〆切

臨時福祉給付金

4月からの消費税引き上げに伴い、所得の低い人への影響を緩和するために、「臨時福祉給付金」の給付を行います。

■支給対象者（次の要件をすべて満たす人）
①平成26年1月1日現在、紫波町に住民票がある人
②平成26年度分の町民税（均等割）が課税されていない人
③ご自身を扶養している人が町民税（均等割）を課税されていない人
④生活保護を受給していない人

■給付額　給付対象者1人につき1万円
※次の条件を満たす人は、5千円の追加給付‥‥老齢基礎年金の受給者、児童扶養手当の受給者など

■申請方法　給付対象となる可能性が見込まれる人に、町から案内文書を送付しました。それに従って手続きし、郵送で返送してください。

■給付方法　申請書を受理した後に、町で審査し、該当する人に給付（口座振込）します。

■問合せ　総務課 総務文書室
☎(672)2111（内線3122）

子育て世帯臨時特例給付金

4月からの消費税引き上げに伴い、子育て世帯の負担を軽減するために、「子育て世帯臨時特例給付金」を給付します。

■給付対象者（次の要件を全て満たすこと）
①平成26年1月分の児童手当（平成26年2月10日支給済み）を紫波町から受給されている人
②児童手当受給者の平成25年の所得が所得制限額を超えないこと（扶養親族がいないケースで所得額622万円未満）
※ただし、児童手当の対象となる児童が、「生活保護制度の被保護者」である場合は該当しません。

また、「臨時福祉給付金」の対象となる場合は、当該給付金への申請となります。

■給付額　児童手当の対象児童1人につき1万円

■申請方法　給付対象者となる児童手当受給者には申請書用紙を郵送しました。返信用の封筒を同封していますので、内容をご確認の上、申請書を返送してください。

■給付方法　申請書を受理した後に、町で審査し、児童手当の振込口座、または申請書に記載した口座に入金します。ただし、児童手当の振込口座以外の口座へ振込を希望する場合は、必要な書類がありますのでご確認ください。

※公務員の場合　公務員の児童手当受給者には、人事担当課から児童手当受給状況証明書、申請書用紙が届きますので、添付書類をご確認の上、平成26年1月1日時点の住民登録市町村に提出願います。

■問合せ　福祉課 こども室
☎(672)2111（内線1531）

選挙管理委員の異動について

平成26年6月9日付の異動について、次のとおりお知らせします。

現職名	氏名	前職名
委員長	生内　正昭	委員長職務代理者
委員長職務代理者	横澤　育子	委員
委員	伊藤　時男	異動なし
委員	茅野　克己	平成26年6月3日、補充員から補欠

大勢の地区民や関係者に見守られながら除幕された記念碑

彦部小学校5・6年児童による彦部田植え踊り

彦部地区に三井報恩会事業記念碑が建立

彦部公民館の庭内で6月11日、三井報恩会事業記念碑の除幕式が行われました。この碑は、今から約80年前に、彦部地区が、三井財閥が設立した社会事業財団「三井報恩会」の「特定振興村」として援助を受けたことに感謝し、その功績を後世に残そうと、彦部地区民などの有志や三井報恩会などからの寄付によって建立されたものです。三井報恩会の槍田松瑩理事長や、同会初代理事長を務めた米山梅吉記念館の井口賢明常務理事、達増拓也知事、熊谷町長など約80人が参列する中、記念碑建立委員会の阿部王洋委員長と三井報恩会と特定振興村彦部村を考える会の長澤聖浩会長が中心となり、12人の手によって高さ3mの記念碑が除幕されました。その後、彦部小学校5・6年児童による彦部田植え踊りの披露、餅まきも行われ、80年の時を超えて新たに生まれた絆を、地域全体で祝いました。

彦部地区では平成18年、公民館事業として「彦部の歴史を深める会」を結成。中心となって活動していた長澤聖浩さんは、平成24年に研究の成果をまとめた「三井報恩会と岩手県彦部村」を発行し、平成25年には「三井報恩会と特定振興村彦部村を考える会」を立ち上げ、三井報恩会や米山梅吉記念館の関係者の皆さんとの交流活動を進めてきました。

この日、除幕式を終えた長澤会長は「今まとめなければ風化してしまうという思いで活動を進めてきました。彦部の歴史を深める会の発足から足掛け8年ですが、その活動の中で報恩会事業の写真が見つかっていなければ、ここまでのものにはなっていません。当時の方々のお導きがあったようにも感じています。80年前、モデル指定があったときも、今日のような熱気があったのかもしれないですね。よみがえった交流を大切にし、三井報恩会、米山梅吉記念館、青森県の平内町など、当時の関係者との歴史的な交流が、今後さらに深まり、将来的な地域の発展につながればうれしいです」と感慨深そうに話していました。

三井報恩会は、昭和9年に三井財閥によって作られた社会事業財団です。初代理事長を務めた米山梅吉氏が、当時、冷害や経済恐慌で経済難に陥っていた東北地方の農村を再生しようと、2カ村を経済更生のモデル農村として指定し資金援助する活動を実施。2カ村には、当時の彦部村と青森県の西平内村が選ばれ、当時の村の年間予算を上回る金額が、昭和10年から5年間投入されました。彦部村では、報恩会による乳牛や綿羊の飼育指導や、稲作と合わせた複合経営、台所改善や農繁託児所の開設の指導など、多岐にわたる事業が行われ、その結果、多くの農家が窮地を脱することができました。

当時建てられていた木製の標柱。今回作られた記念碑は、当時刻まれていた文字を模している

平成24年に発行された「三井報恩会と岩手県彦部村」。書籍については、彦部公民館(☎676-4670)または図書館(☎671-3746)に問い合わせください。

思いを実現する活動や地域づくりを応援!

地域づくり活動補助金公開審査会

豊かな公が息づくまち

町は6月7日、情報交流館で地域づくり活動補助金の公開審査会を開催しました。審査員や一般の参加者など約50人が集まる中、今回申請した4団体の皆さんが審査会に臨み、活動内容や活動にかける思いを、実際の活動の様子、寸劇などを交えながら、それぞれの形でPRしました。

この補助金は、町の皆さんの柔軟な発想による地域の活性化や課題解決、また、それに取り組むNPOやボランティア団体などの組織づくりを支援するために助成するもの。事業が始まった平成20年度から25年度まで、のべ40団体に対し約500万円を交付しています。

今回の審査会で発表した各団体には、いずれも申請額が満額支給されることが決定されました。各団体の活動内容と審査結果などをお伝えします。

種　　類	補　助　額
スタートアップ補助金	上限10万円
ステップアップ補助金	事業費の3分の2以内／上限30万円※過去2年間の交付団体を除く
パートナーシップ補助金	上限10万円

みすず広場

発達障がい児・者とその家族の心をサポートしたい!

交付決定額　ステップアップ補助金　290,000円

発達障がい児・者とその親がなんでも話せる場を提供し、支援の窓口となる活動を行っています。今後は、当事者が陥りがちな自己評価の低下による二次障害を防ぐためのペアレントトレーニングを実施するとともに、当事者勉強会なども開催したいです。

《審査員からのコメント》

活動を充実させていくことで、当事者や関係者への支援はもちろん、周囲の人や地域の方々が障害に対する理解を深めていくことにつながるという点からも、非常に意義のある活動だと思います。一方、とてもデリケートな部分に関わる活動であることから、参加者の負担などだけでは運営が厳しいと思われます。関連団体や学校、地域の方々とも連携しながら展開していくなど、今後の活動展開に工夫が必要だと思います。

紫波町観光案内人 しゃ・べーる

紫波町講談「紫凛会」立ち上げたい!

交付決定額　ステップアップ補助金　33,000円

町内外の人に紫波町の歴史や史跡をより深く知ってもらい、町の誇りや伝統を次世代に伝えていこうと、歴史や伝承を紙芝居などで紹介する活動や、観光名所案内、出前講座などを実施しています。今後は、観光案内の方法として新たに「講談」を取り入れて、内容や手法をバージョンアップしたいです。

《審査員からのコメント》

しゃ・べーるは、町の観光案内に欠かせない存在に成長していると思います。「講談」を取り入れることで、伝統芸能に興味を持つ人が新たにメンバーとして加わる可能性も期待できます。後継者育成にも力を入れ、活動をさらに充実、継続させてほしいです。

子どもを見守るまちづくり委員会（通称：こみまち）

交付決定額　ステップアップ補助金　50,000円

「元気で明るく、健やかな子どもを地域で育むまちづくり」を目指し、地域の中で顔が見える関係をつくろうと活動しています。今後は、リーダー研修会や出前企画ワークショップなどの活動を充実させながら、子ども自身の企画による「古館サマーワーク」などの開催につなげたいです。また、同時に周知や広報活動にも力を入れ、地域全体の理解も深めていきたいです。

《審査員からのコメント》

地域全体で取り組むことで、子どもの自主性を育みながら、実は親も成長し、地域の大人たちにも活力を与えるすばらしい活動だと思います。地域で大切に育てられたことを感じる子どもたちは、地元を愛する心を持った大人になれることでしょう。まさに'人づくりの循環'だと思います。今回の発表で、「自分の地域でも!」と思った参加者が大勢いました。ぜひ、ほかの地域でも『こみまち』の活動を紹介していただきたいです。

田舎の茶の間

交付決定額　スタートアップ補助金　100,000円

地区内の空き家を利用し、高齢者や子育て世代の親子など、年代に関わらず地域の誰もが集えるサロンを月に1～2回開催したいと考えています。

《審査員からのコメント》

「参加者も一緒に昼食を作るなど、サロン運営に協力してもらい、参加者全員に役割と出番を持たせる」ということは、全員が生きがいをもつことにつながり、すばらしい視点だと思います。また、年齢制限をしないという点も、高齢者対策のみならず、異世代交流にもつながると思いました。また、空き家問題の側面からも、有効な活用方法だと思います。「誰もが誰もを知っている」という強固なつながりではなく、「誰かが誰かを知っている」というふんわりとしたゆるやかな関係こそが、居心地のいい、そして安心できる空間であると思います。ぜひ「田舎の茶の間」が地域のそんな空間になることを期待します。

審査員を務めた皆さん

審査員として参加した岩手大学の学生である真壁さんと遠藤さんに感想を伺いました。

遠藤晃司さん
（一般公募委員 岩手大学教育学部4年 仙台市出身）

真壁晃基さん
（一般公募委員 岩手大学教育学部4年 古館地区在住）

佐藤富美子さん
（市民活動支援センター管理者 NPO法人ゆう・もあ・ねっと代表）

七木田一善さん
（長岡ゆめプラン推進協議会 副会長）

菊地圭二さん
（NPO法人紫波ing 理事）

★真壁さん　大学の教授に勧められて参加しました。審査会ということで、とても固いイメージがあり緊張していたのですが、実際に参加してみて、市民に開かれている楽しい審査会で、とても良い刺激になりました。特に印象に残った発表は「子どもを見守るまちづくり委員会」の活動です。子どものころからワークショップなどに触れられる機会は、自分にはなかったので、とても良い取り組みだなと感じました。

★遠藤さん　プレゼンテーションを見させていただき、皆さんが、本当に紫波町を好きな気持ちが伝わってきました。特に、「田舎の茶の間」の皆さんの劇は、方言も交えていてとても面白かったです。住民同士のつながりを感じましたし、こういうところで暮らしたいなと思いました。社会人になったら、自分も地域の活動に参加してみたいです。

賢治と嘉藤治に思いをはせる音楽会

水分地区にあるビューガーデンで6月21日、第12回かとうじ山の音楽会が開かれました。宮澤賢治の親友で『セロ弾きのゴーシュ』のモデルとなった同地区出身の藤原嘉藤治を顕彰しようと同実行委員会が主催。水分小学校の児童有志で結成された「こども合唱隊」、地元女声コーラスグループ「コールあづまね」、嘉藤治の遠縁にあたる大島広夢くん（北海道・小学6年生）のチェロ演奏などが披露され、会場を訪れた約300人の観客は、心地よく楽しい音楽に包まれた豊かなひと時を過ごしました。

鷹觜みゆき実行委員長が作詞・作曲した「セロ弾きのゴーシュの歌」を歌うこども合唱隊

賢治が作詞・作曲した『星めぐりの歌』を弾く大島くん

産直のまち「紫波」情報発信システム本格始動!

サイネージディスプレイ（左上）の前でスイッチオン

町は5月31日、産直「紫波マルシェ」で、産直情報集約発信システムの始動式を行いました。全10カ所の産直がある紫波町を、〝産直のまち「紫波」〟としてブランド化し、各産直の最新情報を集約して発信しようとするものです。熊谷町長や農林公社、産直組合連絡協議会、各産直の組合長など約30人に見守られて、システムの本格稼働が始まりました。発信された情報は、紫波マルシェほか4産直に設置された画面に表示されるほか、ホームページで見ることができます。

産直のまち紫波

検索

「もらったお花はお友達のように大切にします」と元気に答えた子どもたち

命の大切さを学ぶ「人権の花」

町人権擁護委員と町は、ベゴニアを植えた人権標語入りのプランターを、町内の全小学校に12個ずつ配布しました。児童が協力し合いながら花を育てることで、命を大切にし、思いやりの精神を育むことを目的に行われているもので、今年で2年目。ベゴニアの花苗は、紫波総合高等学校で育てられ、けやき学園でプランターに植え替えたもの。6月12日には、上平沢小学校（中里恵利子校長）で贈呈式が行われ、1年生7人が受け取りました。

二日町地内国道4号のアカマツ 松くい虫被害により伐採

伐採されるアカマツ（一社）農林公社撮影

城山公園入口付近の国道4号中央分離帯にあった高さ18ｍのアカマツが、6月2日、国土交通省により伐採されました。樹齢約130年と推定され、古道の面影を伝える遺構として地域に親しまれた大木。周囲に3本あったうち、松くい虫被害により平成24年に2本が伐採され、残されていた1本でしたが、今年5月の調査でやはり枝葉の枯れが確認されていました。今回の伐採は、枝の落下や倒木などによる通行車両への被害を防ぐためのものです。

このマツは、木質チップに加工し、燃料として町内の施設で利用されます。

オガール周辺をみんなできれいに

オガール地区周辺で6月21日、（公社）シルバー人材センター（髙橋力理事長）の会員やオガール地区の事業関係者、町の職員など約170人が、協働で草取り作業を行いました。この取り組みは今年で3年目。参加者は、町道希望ヶ丘線などのオガール地区周辺で、約2時間半にわたって作業に汗を流しました。シルバー人材センターの阿部長松事務局長は「これからも、地域の高齢者の皆さんに呼びかけながら、町と協力して、地域をきれいにしていきたいです」と話していました。

オガールプラザを背に活動した参加者たち

ごみ減量を目指して啓発活動

ナックスの入り口で行った活動の様子

町内の大型ショッピングセンター4店で5月30日、「ごみゼロ」運動が展開されました。増え続けるごみの減量を呼びかけようと、紫波町環境衛生組合連合会（松﨑勝見会長）と紫波町ごみ減量女性会議（瀬川智子会長）が主体となって実施。町の新採用職員を含む36人が、啓発メッセージを添えたポケットティッシュ1200個を配布しました。瀬川会長は「リサイクルやマイバッグなどの言葉も浸透してきているが、ごみの量は依然増え続けているので、引き続きごみ減量の啓発を続けていきたい」と、活動の重要性を語っていました。

大豆をとおして食育学ぶ　二中

梅雨の晴れ間となった6月23日、紫波第二中学校（藤原美智雄校長）の1年生57人が、犬吠森地内にあるゆいっこの里犬草（阿部幸良組合長）のほ場で、大豆の種まきを行いました。「手作業をとおして、昔の人たちの苦労を感じました。元気でおいしい大豆に育ってほしいです」と藤原春香さん。阿部組合長は「通学時などにも、どんな風に育っているのか、ほ場を見て学んでもらえれば」と話していました。育てた豆は秋に収穫後、生徒たちの豆腐作り体験に使用される予定です。

生徒たちは、大豆を2粒ずつ、30㎝の間隔をあけて丁寧に種をまきました

声 疑問・質問

このコーナーでは、町の皆さんから寄せられた疑問・質問の声について紹介します。

○近所の道路が暗くて心配。街路灯ってどうやったら設置できるの？

●街路灯は「道路照明灯」と「防犯灯」の2種類があります。1つは、交通事故防止を目的に町が設置、管理している「道路照明灯」、もう1つは、暗くて通行に支障がある場所や防犯上不安のある場所に、地元によって設置され、維持管理をお願いしている「防犯灯」です。

設置する方法としては、設置費用を各行政区などで負担して設置する方法と、寄贈される灯具を利用する方法があります。また、防犯灯設置時から周辺状況や交通量が変化し、必要性が低くなった灯具を移設している行政区も見られます。

設置を要望する場合は、行政区長または役場土木課に、まずはご相談ください。

【担当・問合せ】土木課
☎672-2111 内線5144 有線01-8911

おさらいクイズ★ 知って分かって

Q 彦部地区に立てられた記念碑の名称は？
（ヒントは17ページ）

郵便はがきまたは電子メールで、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤答え⑥『紫波ネット』の感想や町政に対するご意見などを記入の上、ご応募ください。

応募期限は**8月8日（金）です**

〒028-3392 紫波町役場
企画課 情報政策室「おさらいクイズ」係
電子メールjoho@town.shiwa.iwate.jp

正解者の中から、抽選で図書カードをプレゼントします。
たくさんのご応募をお待ちしています！

寄せられたご意見ご感想

●本当に子どもが少なく、少子高齢化が進んでいるのを感じます。地域ぐるみでお互い協力が必要だし、隣近所で声をかけ合うことが必要ですね。
（日詰地区・40代）

●岩手国体は、町をPRする絶好のチャンスです。町民一丸となってもてなしましょう。過去の経験を生かして協力し、国体が成功することを祈ります。（赤石地区・80代）

ラ・フランス温泉館 お客様感謝デー
第4木曜日 7/24(木)
営業時間 午前10時～午後9時まで
入浴料 大人700円→500円 小人350円→無料！
友の会カードポイント5倍
イベント風呂実施！
紫波町小屋敷字新在家90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556
ラ・フランス温泉館 検索
URL http://www.lafrance.co.jp/
ハダカのおつきあいで一家だんらん。
La France ラ・フランス温泉館

ワイナリーでお待ちしております
直売・試飲・工場見学ができます
お土産に紫波のワインを
自園自醸ワイン 紫波
岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
お買い求めは県内酒販店・スーパー・百貨店にて
夏の白ワインフェア開催中
(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原1-11（道の駅紫波の裏手）
☎019-676-5301 http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/ 紫波ワイン 検索

中央葬祭センター シンセラホール紫波
「しらゆり会員」募集中
特典
○生花・盛籠（各種）1,000円割引
※税込21,000円以上の商品に限らせていただきます。
○祭壇貸出料20%割引
○通夜室使用料20%割引
○仏具展示品10%割引
○引き出物、返礼品10%割引
入会金 10,000円
中央葬祭センター「シンセラホール紫波」
岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎676-7676 FAX676-4404

人気の矢幅エリア コーポまいた
入居者募集！
矢巾町南矢幅 2LDK
家賃 57,000円 不来方高校東側
[敷金]2カ月[礼金]1カ月[共益費]2000円[住所]矢巾町南矢幅第9地割字田中249[交通]矢幅駅まで徒歩18分
[間取り]2LDK（LDK12、洋室6、和室6）[築年月]平成9年11月[駐車場]有（1台目無料、2台目から3000円）
LDK（12畳） 洋室（6畳） 和室（6畳）
貸主 (株)マイタコーポレーション
(株)マイタコーポレーション
紫波郡矢巾町煙山17-78-1 ☎019(697)3939・FAX019(697)7028

紫波ネット広告を募集しています
◆掲載料 1枠10,800円（税込み） ◆申込・問合せ 企画課 情報政策室
☎672-2111 内線3232 ✉joho@town.shiwa.iwate.jp

元気です!! ゆいっとサロン

7月 オガールさんぽ!

7月31日、オガール地区において新たな施設「オガールベース」がオープンを迎えます。ゆいっとサロンを来館される皆さんも「どんな施設なのかな」「どんなお店が入るのだろう」などと、心待ちにしている様子です。

ゆいっとサロンでは、施設のオープンを前に、町の皆さんにオガール地区の今を知っていただき、日々の活動にもっとオガールを利用してもらおうと、オガール地区内の施設めぐり「オガールさんぽ!」を企画中です。紫波町観光案内人しゃ・べーるの皆さんの案内で、オガールベースやエコハウスサポートセンターを見学し、来春5月開庁する役場新庁舎についてのお話も伺う予定です。施設内は、一部ご覧になれない場所もありますが、紫波を訪れるお客様の気持ちになり、子どもたちが夢を育むまち〝紫波〟を体感できる機会になるのではないかと思います。当日、ゆいっとサロンにて参加を受け付けていますので、皆さんぜひお気軽にご参加ください。

【日時】8月2日(土)・3日(日)
1回目:午前10時30分～　2回目:午前11時30分～
3回目:午後1時30分～　4回目:午後2時30分～
(所要時間は約1時間です)

【コース】ゆいっとサロンに集合→オガールプラザ(情報交流館、図書館)→オガールベース→エコハウスサポートセンター→役場新庁舎→県フットボールセンター→産直「紫波マルシェ」→解散

※同日同会場で、「オガール祭り」や「子ども教室夏まつり」も企画されています。詳細は次号の『紫波ネット』でお知らせします。

市民活動支援センター
ゆいっとサロン
開設・電話受付時間:
午後1時～6時(月曜日休み)
☎676-2468
ブログ:ゆいっと気まぐれ日記
ゆいっとサロン 検索

町長メッセージ

今年も6月中旬から、9会場でまちづくり座談会を開催しました。夕食時と重なった地区もありましたが、昨年より67人多い237人の方々に参加をしていただきました。町から報告のあった「みまもってねット」や昨年8月9日の集中豪雨による災害からの復旧に関係する質問の他に、多くの会場で人口減少に関する問いかけがありました。これは、人口減少が一部の過疎地の問題ではなく日本全国の現実であると町の皆さんが危機感を持たれていることの表れです。以前から話題になっていた少子高齢化に伴う諸問題について、元岩手県知事の増田寛也氏が座長を務める日本創成会議・人口減少問題検討分科会が、「2040年(平成52年)に、全国1800市町村のうち半数にあたる896市区町村が消滅する危機がある」と発表し、5月に地元紙の記事に全国リストが掲載されました。特に、2040年(平成52年)の想定人口における20～39歳の女性の人口が2010年(平成20年)と比べ50%以上減少し、人口が1万人未満と推定される市区町村を「消滅可能性都市(市町村)」と表現しております。これは、北海道、東北に多く紫波町は43・3%減となっています。人口急減は「待ったなし」の状態ですが、悲観論だけでは意味が無く、困難であっても解決する道を探らなくてはなりません。若者が自らの希望に基づき結婚をし、子どもを産み育てる事ができるような社会をつくることが基本で、男性が育児に積極的に参加するとともに、女性が能力を生かして活躍できる環境が必要です。日本の人口急減には人口の社会移動が大きく関わっており、合計特殊出生率は都会ほど低くなることが、すでに数字で示されております。国が大都会への一極集中の是正を行わなければいくら目標人口を示しても実効は上がらず、地方に産業と雇用を興す国策が求められます。

一方、公表されている資料では、秋田県の大潟村のように、人口3000人強の村でありながら若手女性人口変化率が15・2%増となっている村もあります。大潟村の人口増は農業がうまくいっていることの表れであり、都市のベッドタウンがすべてではないことも示されています。このことは私たちにも一つのヒントを与えています。

さまざまな情報を注意深く読み解きながら、本当の豊かさが実感できる地域づくりを目指してまいります。

熊谷 泉

当店には
認定眼鏡士
が在籍しております
詳しくはWebで
目明かし堂 検索
http://www.meakashi.com
☎676-2838
スマホ用QRコード
有限会社 サトウ時計店
紫波町日詰字郡山駅209(日詰商店街・バス停前)

相心館 ゆう 美容室

「オーダーメイドのスタイルでお客様に心まで輝いてお帰りいただきたい」そんな願いを込めて、全スタッフ技術向上、美意識向上を常に努めております。
真夏の疲れには多彩なヘッドスパで心身を癒してください。
夏キャンペーン実施中
メール会員になると、もっとお得な情報がゲットできます!携帯・スマホからアクセス!
【定休日】毎月曜・第3日曜 8月夏休み14・15・16日(17日臨時営業)
〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-32
TEL019-676-5825
E-mail yu@posh.jp メールアドレスが変わりました
OPEN 8:40
CLOSE 18:30
古館駅 相心館 ゆう 美容室 中島歯科 ローソン たもり 加藤医院 至花巻 4号線 至盛岡

チヤさんの手から生み出される小物たち。左から、「えじこ」、針金で作った石鹸かご、わらで作ったカメの飾り(手前)、フジのつるで編んだかご(奥)。

シリーズ＊行ってみよう

訪ねてみよう紫波の達人

感謝の気持ちを織り込む わら細工

工藤チヤさん

わらを編むのには、手の力が必要。「手を動かすことが好き」というチヤさんは、お話し中もずっとえじこを編んでいました。

工藤チヤさん
(連絡先:赤石公民館 ☎676-3999)

わら打ちに使用する木槌と木製の台。
どちらもどっしりとした重さと独特の温もりがある。

皆さんは「えじこ」をご存知ですか。えじことは、昔、農家の子育てに使われていた〝赤ちゃんを入れるかご〟のこと。現在では、作り手が少なくなり、見かけることがほとんどなくなってしまいました。

そのえじこを作っているのが、日詰地区の工藤チヤさん(77)です。チヤさんがえじこを初めて作ったのは、20歳のころ、お兄さん夫婦に生まれてくる赤ちゃんのためでした。誰かに習ったのではなく、近所の家で見せてもらった実物を手本に、見よう見まねで作ったそうです。えじこの作り方は「①わらから実を取り除き、茎を内側と外側で分類する③それぞれを、わら打ち用の槌で打ち、柔らかくする④底から編み始め、側面まで編んでいく⑤縁取りをして完成」。えじこ1個の制作には1週間以上かかるそうで、特にもわらの下準備は丁寧に行う必要があることから、とても時間がかかるといいます。

作品を作ったらすぐに誰かにあげてしまうというチヤさんは「作ったものを手元に置いておいて私だけの宝にしても、死んだらそれでおしまいになってしまうでしょう。私はいつも色んな人に助けられて生きてきたから、その感謝の気持ちを、買ったものではなく、自分の手で作ったもので伝えたいんです」とその理由を話します。

チヤさんのえじこは、県内はもちろん、関東などでも愛用されており、東日本大震災の際には、仙台で被災した犬の飼い主から依頼を受けて制作。体調を崩していた犬が元気になり、飼い主からとても感謝されたそうです。

「私が作っているものは誰にでも作れるものなので、私でよければ、できるだけたくさんの人に技を伝えていきたいです。楽しそうだな、やってみたいなという人がいたら、声をかけてください」とにこにこ話すチヤさんの瞳は、優しさと、新しい作品づくりに向ける好奇心とでキラキラ輝いていました。

情報求む！ あなたの身近な達人をご紹介ください

町は、皆さんの身近にある「これはすごい！」「みんなに広めたい！」という達人技や名人、職人、趣味人など、紫波の魅力として紹介したいと思う地域の方々（企業）の情報を募集しています。小さな情報でも構いませんので、ご連絡をお願いします。

【連絡先・問合せ】
〒028-3392 紫波町役場 企画課
情報政策室「紫波の達人」係
☎672-2111(内線3232)
✉joho@town.shiwa.iwate.jp